

# 令和3年度障がい者就労支援セミナー 事業報告

「自分らしく生きる、働く！夢をかなえる」

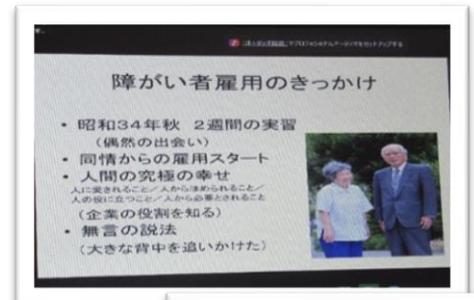
配信期間：11月24日（水）～12月6日（月）

参加者：239名

講師：日本理化学工業株式会社

代表取締役社長 大山 隆久 氏

講演内容：『働く幸せのために社員から教わったこと』



令和3年度障がい者就労支援セミナーをWEB 動画配信で開催しました。



大山社長

社員の7割が知的障がい者で、長年にわたって雇用を継続している日本理化学工業株式会社。先代社長から受け継がれた取り組みに戸惑いを感じられながらも、障がいのある方々から教えてもらうことが多かったと話された大山社長。“「働くよこび」「人の役にたつ幸せ」「生きることの意味」を社員から教わった”という言葉がとても印象的でした。民間企業経営の中で、多数の障がい者を雇用しながら利益を出すために周りの社員が必死に教えながら、一人前の職人になるまでに苦労した点や工夫された治具のについてのお話など、障がい者雇用の取り組みの難しさに直面したエピソードをお話いただきました。そして、大山社長が実際に現場で体感して分かった、物やお金だけではない“働く喜び”についてのお話には感銘をうけました。

社内での取り組みである6S活動の徹底や工夫された治具の利用によって、製造ラインはほぼ100%の知的障がい者のみで稼働できる仕組みとなっており、障がいのある方の支援に携わる方にとっても、参考になる部分も多かったのではないのでしょうか。障がいの有無に関わらず働く喜びを体感できる仕組みは、すべての働く人にも通じるものがあると感じました。

## 【視聴者アンケートより ～一部抜粋～】

- ・「障がい者、健常者という言葉がなくす」と言われていました。同じ労働者として区別はないのだと改めて考えさせられました。カバーしあえる職場、社会になっていけるよう、働いていきたいと思えます。
- ・法律や制度が確立する何十年も前から障がい者雇用をされた長年の実績とそのサポートする力は、自分の経験値には到底及ばないものがあります。今回の講演を聞いたことで、現場ならではの多くの学びがありました。
- ・自分ができることをまっすぐに一生懸命やることは、どのような障がいであっても、健常者にも通じると知りました。
- ・今までは就労について、生活費を稼いで自立をしていく事ばかりに注目していましたが、就労が当事者の生きがいになり、心を豊かにしてくれる面もある、と学ぶことができました。

## 【担当者より】

発達教育センターのご協力もあり、市民の方、関係機関、企業の方など多くの方にご視聴いただきました。また、講師の大山様には、当初福岡にお越しいただく予定を、急遽オンラインでの講演開催にご理解いただき、昨年コロナ禍で中止となっただけに動画配信での実施ができたことに感謝しております。今回たくさんの方の支援のヒントをいただきました。その学びを明日からの支援や、障がい者雇用への取り組みに活かしていただければと思います。

## 令和元年度障がい者就労支援セミナー 事業報告

### 「障がい者が活躍できる福岡」 ～自分らしく生きる！働く！～

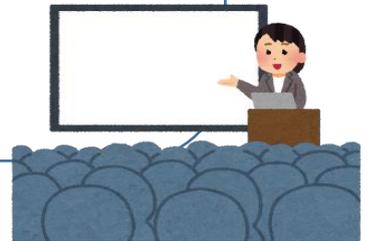
#### 講演会

今年度は、教育ジャーナリスト、編集者の品川裕香氏に『働くために必要なこと～将来、社会不適應にならないために～』と題してご講演いただきました。

先生は、広く教育、医療、社会問題について活躍をされています。

講演の中では、発達課題のある若者たちの事例をもとに、自立と社会参加のために必要な生活や言語、感情、行動のすべてを自分で管理できるセルフコントロールや社会のルール、忍耐などの大切さを話していただきました。

参加者からは「根拠がしっかりしており障がいについて積極的に考えることができた。」「中身の濃い講演で、もっと話を聴きたい。」という感想が寄せられました。



#### 事例発表

『自分を信じ続ける』というテーマで、福岡市内の特例子会社に就職された方の事例発表をしていただきました。

高校卒業後、就労移行支援事業所の利用を経て現在の会社に入社したこと、それから入社後の約9年間のことを、支援の過程とともに発表しました。印象的だったのは幼少期からご家族が、できないことよりもできることを伸ばすという教育方針をずっと続けてこられたことが、今につながっているという点です。「問題行動などの社会不適應を起こす可能性が上がるリスク要因を減らして、社会不適應を起こす可能性を予防する保護要因を強化することが大切である。」という品川先生のお話と通じるものがありました。



11月15日金曜日に、福岡市市民福祉プラザふくふくホールにて、就労支援セミナーを開催しました。当日は、125名の方にご参加いただきました。関係機関の方や企業の方、昨年度から発達教育センターのご協力で、障がいのある方やご家族にも多く参加していただけるようになりました。これからも障がい者雇用についての情報を得ることができる機会になればと思います。有難うございました。

担当者一同

# 平成30年度 就労支援セミナー事業報告

「障がい者が活躍できる福岡」～誰もがイキイキはたらく社会を目指して！～

10月12日(金)実施

今回は福岡市発達教育センターと共同開催で福岡市民福祉プラザふくふくホールにて開催しました。



第1部はエフコープ生活協同組合の管理管掌補佐 永芳陽子氏、人材開発担当 林克則氏よりご講演いただきました。会社概要から障がい者雇用や各種事業の取り組みについて、沢山の写真や動画を交えて分かりやすくお話しいただきました。

第2部は事例発表で、事例1は、「チャレンジ雇用からのステップアップ」としてご本人・ご家族と特別支援学校の先生よりお話いただきました。在学中の本人の働くことへの意欲や実習経験を考慮し市のチャレンジ雇用を活用し、その後センターと連携しながら一般就労へのステップアップに繋がることのできた事例でした。



事例2は、「お給料は大切です！」と題して10年以上働き続けたご本人を中心に、今日までのご家族の思いを交えながら長く働き続ける為に何が大切かをお話いただきました。保護者からのアンケートには、「我が子の将来に向けて希望が持てた」「就労に向けて日頃の生活習慣や挨拶から身に付けていきたい」との感想がありました。



今回は、福岡市発達教育センターとの共同開催ということもあり保護者、企業、教育機関等様々な立場で障がい者雇用に関心のある方々145名と多数ご参加いただきました。参加者の皆様には、障がい者雇用の現状、支援の在り方、将来への希望等様々な思いを持ち帰っていただけたように思います。このセミナーが少しでもこれからの障がい者雇用の発展に繋がれば幸いです。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

担当者一同